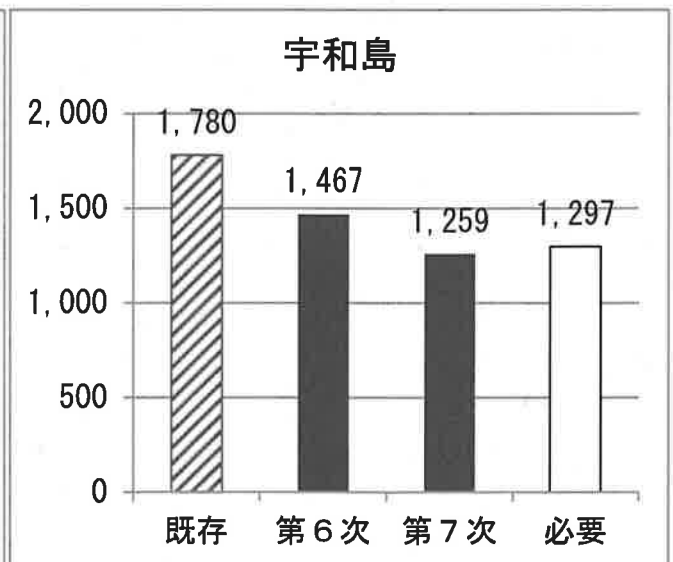
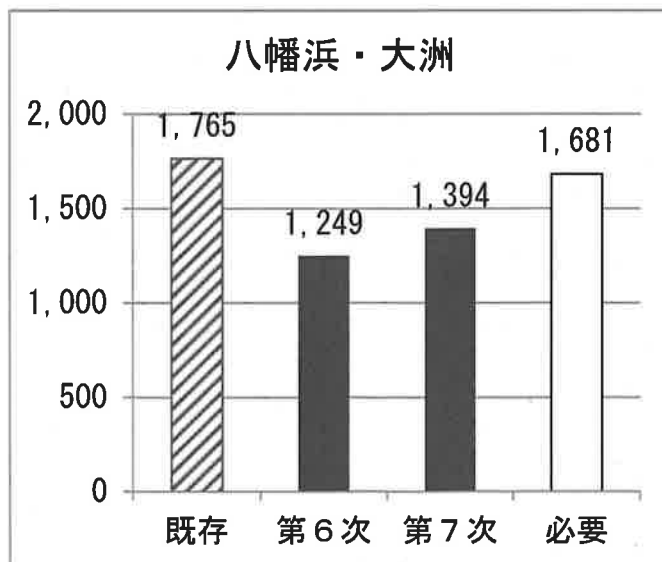
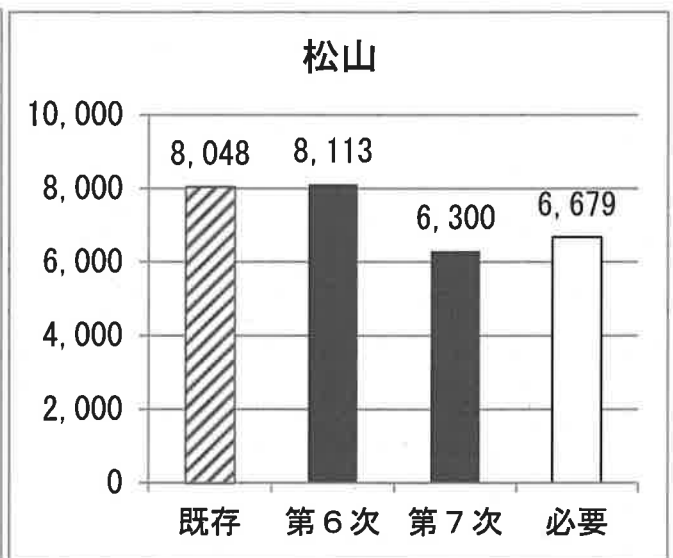
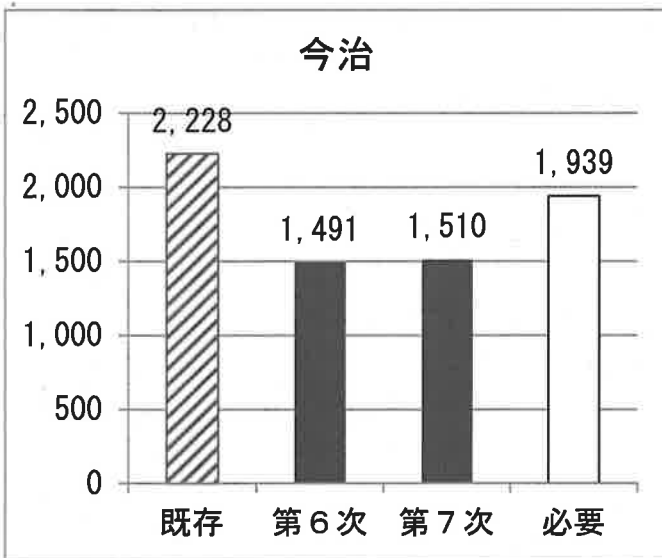
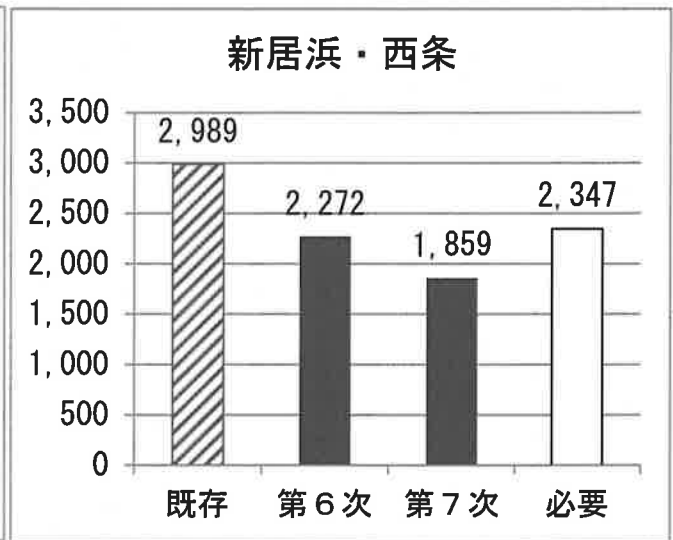
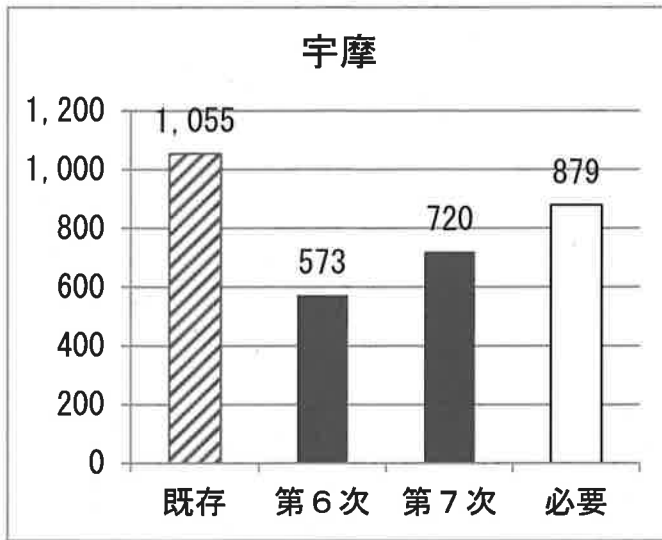


# 基準病床の算定について



## 1 一般病床及び療養病床

【根拠】医療法施行規則第30条の30第1項

### (1) 一般病床

$$\left( \text{A 直近の性別・年齢階級別人口} \right) \times \left( \text{B 性別・年齢階級別一般病床退院率} \right) \times \left( \text{C 平均在院日数} \right) + \left( \text{H 流入入院患者数} \right) - \left( \text{I 流出入院患者数} \right)$$


---


$$\left( \text{D 病床利用率} \right)$$

### (2) 療養病床

$$\left( \text{A 直近の性別・年齢階級別人口} \right) \times \left( \text{E 性別・年齢階級別療養病床入院受療率} \right) - \left( \text{F 介護施設、在宅医療等対応可能数} \right) + \left( \text{H 流入入院患者数} \right) - \left( \text{I 流出入院患者数} \right)$$


---


$$\left( \text{G 病床利用率} \right)$$

### (3) 都道府県間の患者流出入を見込む場合

流出先又は流入元の都道府県と協議を行い定めた数

## A. 直近の性別・年齢階級別人口

【根拠】医療計画作成指針（平成29年3月31日付け厚生労働省医政局通知、同年7月改正） ⇨ 平成27年国勢調査人口

圏域	性別	総数	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳以上
宇庫	男	42,596	1,680	1,886	1,951	1,958	1,577	2,164	2,427	2,707	3,150	2,692	2,611	2,811	3,318	3,637	2,454	2,099	1,618	915	336	68	7
	女	44,817	1,595	1,818	1,811	1,753	1,466	2,001	2,153	2,536	2,947	2,566	2,681	2,815	3,386	3,712	2,894	2,687	2,441	1,917	995	289	54
新居浜・西条	男	109,358	4,729	5,117	5,380	5,155	3,959	5,366	6,065	7,120	8,189	6,794	6,870	6,694	7,853	9,260	6,733	5,287	4,204	2,525	808	189	21
	女	118,719	4,483	4,881	5,079	4,739	3,553	4,803	5,911	6,779	8,047	6,689	6,907	7,150	8,509	10,102	7,908	7,204	6,810	5,034	2,529	769	125
今治	男	78,013	3,025	3,326	3,569	3,740	2,670	3,619	4,099	4,709	5,653	4,663	4,562	4,773	5,910	7,520	5,609	4,352	3,252	1,835	650	135	21
	女	87,236	2,792	3,169	3,483	3,313	2,452	3,224	3,969	4,651	5,824	5,071	4,932	5,209	6,568	8,194	6,853	5,612	5,104	3,837	1,958	595	135
松山	男	303,452	13,034	13,659	14,966	16,259	14,986	14,167	16,794	19,552	22,623	18,905	18,144	18,744	21,067	23,086	16,693	12,834	9,566	5,748	1,911	378	36
	女	342,603	12,277	13,429	13,968	15,532	15,337	15,789	17,973	20,879	24,017	21,151	20,856	21,184	23,287	26,031	20,252	17,327	15,747	11,635	5,530	1,656	320
八幡浜・大洲	男	67,972	2,375	2,708	3,185	2,929	1,685	2,373	2,942	3,656	4,053	3,808	4,361	5,166	5,945	6,624	4,562	4,252	3,738	2,302	779	154	24
	女	76,352	2,195	2,508	2,899	2,722	1,638	2,401	2,990	3,451	4,088	4,037	4,344	4,983	6,112	6,691	5,590	5,928	5,839	4,688	2,223	639	109
宇和島	男	52,989	1,815	2,053	2,391	2,256	1,276	1,708	2,231	2,891	3,418	2,994	3,379	3,883	4,876	5,647	3,669	3,185	2,808	1,673	541	84	12
	女	61,155	1,632	1,887	2,355	2,247	1,247	1,659	2,163	2,818	3,383	3,276	3,541	4,282	5,171	5,986	4,580	4,549	4,567	3,428	1,729	464	79

## B. 性別・年齢階級別一般病床退院率

【根拠】医療法施行規則別表第7の規定に基づき、医療法第30条の4第2項第11号に規定する療養病床及び一般病床に係る基準病床数の算定に使用する数値等（昭和61年厚生省告示第165号、平成29年3月改正）

⇨ 【四国ブロック】

(人口10万対)

年齢	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上
男	51.3	12.7	7.5	10.9	8.1	7.9	10.0	11.1	12.5	17.9	24.0	32.8	43.1	59.2	78.3	96.3	120.3
女	36.0	8.8	4.0	7.6	17.3	28.1	30.0	19.3	14.8	14.0	17.1	18.2	26.0	32.9	48.7	62.8	85.2

## C. 平均在院日数

【根拠】医療法施行規則別表第7の規定に基づき、医療法第30条の4第2項第11号に規定する療養病床及び一般病床に係る基準病床数の算定に使用する数値等（昭和61年厚生省告示第165号、平成29年3月改正） ⇨ 15.9日（全国）

## D. 病床利用率（一般病床）

【根拠】医療法施行規則別表第7の規定に基づき、医療法第30条の4第2項第11号に規定する療養病床及び一般病床に係る基準病床数の算定に使用する数値等（昭和61年厚生省告示第165号、平成29年3月改正） ⇨ 76%（全国・下院）

## E. 性別・年齢階級別療養病床入院受療率

【根拠】医療法施行規則別表第7の規定に基づき、医療法第30条の4第2項第11号に規定する療養病床及び一般病床に係る基準病床数の算定に使用する数値等（昭和61年厚生省告示第165号、平成29年3月改正）

⇒ **【全国値】**

(人口10万対)

年齢	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
男	0.0	0.0	0.0	3.3	3.1	5.9	7.9	9.1	18.2	27.7	51.2	86.8	138.4	215.2	333.4	617.8	1,519.7
女	0.0	0.0	0.0	3.4	3.3	3.1	5.4	9.4	10.3	16.4	30.9	49.3	80.9	137.1	261.9	591.3	2,239.4

## F. 介護施設、在宅医療等対応可能数

【根拠】・医療計画作成指針（平成29年3月31日付け厚生労働省医政局通知、同年7月改正）

- ・「第7次医療計画及び第7期介護保険事業（支援）計画における整備目標及びサービスの量の見込みに係る整合性の確保について」（平成29年8月10日付け厚生労働省 医政局地域医療計画課長、老健局介護保険計画課長、保険局医療介護連携政策課長連名通知）

⇒ **協議の場（各構想区域の地域医療構想調整会議）における議論により決定**

## G. 病床利用率（療養般病床）

【根拠】医療法施行規則別表第7の規定に基づき、医療法第30条の4第2項第11号に規定する療養病床及び一般病床に係る基準病床数の算定に使用する数値等（昭和61年厚生省告示第165号、平成29年3月改正） ⇒ **90%（全国・下限）**

## H. 流入入院患者数（一般病床・療養般病床）

【根拠】医療計画作成指針（平成29年3月31日付け厚生労働省医政局通知、同年7月改正）

⇒ **0～当該区域への他区域からの流入入院患者数の範囲内で知事が定める数**

## I. 流出院患者数（一般病床・療養般病床）

【根拠】医療計画作成指針（平成29年3月31日付け厚生労働省医政局通知、同年7月改正）

⇒ **0～当該区域から他区域への流出院患者数の範囲内で知事が定める数**

## 2 精神病床

【根拠】・医療法施行規則第30条の30第2項

・医療計画作成指針（平成29年3月31日付け厚生労働省医政局通知、同年7月改正）

・医療法施行規則第30条の30第2号及び別表第7の規定に基づき、医療法第30条の4第2項第11号に規定する精神病床に係る基準病床数の算定に使用する数値等（平成18年厚生労働省告示第161号、平成29年3月改正）

- ①  $\left[ \begin{array}{l} \text{H32年の性別・年齢} \\ \text{階級別推計人口} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{l} \text{入院期間が三月未満の性} \\ \text{別・年齢階級別入院受療率} \\ \text{（急性期入院受療率）} \end{array} \right]$
- ②  $\left[ \begin{array}{l} \text{H32年の性別・年齢} \\ \text{階級別推計人口} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{l} \text{入院期間が三月以上一年未} \\ \text{満の性別・年齢階級別入院} \\ \text{受療率（回復期入院受療率）} \end{array} \right]$
- ③  $\left[ \begin{array}{l} \text{H32年の性別・年齢} \\ \text{階級別推計人口} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{l} \text{入院期間が一年以上の性} \\ \text{別・年齢階級別入院受療率} \\ \text{（認知症患者を除く）} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{l} \text{継続的な入院治療を} \\ \text{必要とする者の割合} \\ \alpha : 0.8 \sim 0.85 \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{l} \text{治療抵抗性統合失調症治療薬} \\ \text{の普及等による影響値} \\ \beta : (0.95 \sim 0.96) \text{の} 3 \div 0.95 \end{array} \right]$
- ④  $\left[ \begin{array}{l} \text{H32年の性別・} \\ \text{年齢階級別} \\ \text{推計人口} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{l} \text{入院期間が一年以上の性} \\ \text{別・年齢階級別入院受療率} \\ \text{（認知症患者に限る）} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{l} \text{認知症施策の実績} \\ \text{を勘案した影響値} \\ \gamma : 0.97 \sim 0.98 \text{の} 3 \text{乗} \end{array} \right]$



$$\left[ \text{①から④までの合計} \right] \div \left[ \begin{array}{l} \text{精神病床利用率} \\ 95\% \end{array} \right]$$

### 3 結核病床

#### 【根拠】医療法施行規則第30条の30第3項

都道府県の区域ごとに結核の予防及び結核患者に対する適正な医療の提供を図るため必要なものとして都道府県知事が定める数

⇒・医療計画作成指針（平成29年3月31日付け厚生労働省医政局通知、同年7月改正）

- ・「医療計画における結核病床の基準病床数の算定について」（平成17年7月19日付け健感発第0719001号厚生労働省健康局結核感染症課長通知）

$$\left[ \begin{array}{l} \text{1日当たりの当該都道府} \\ \text{県の区域内における法} \\ \text{第19条及び第20条の規定} \\ \text{に基づき入院した結核患} \\ \text{者} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{l} \text{法第19条及び第20条の規} \\ \text{定に基づき入院した結核} \\ \text{患者の退院までに要する} \\ \text{平均日数} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{l} \text{次に掲げる当該区域における} \\ \text{法第12条第1項の規定による} \\ \text{医師の届出のあった年間新規} \\ \text{患者(確定例)発生数の区分に} \\ \text{応じ、それぞれに定める数値} \end{array} \right] \times \left[ \begin{array}{l} \text{粟粒結核、結核性髄膜炎等の重症} \\ \text{結核、季節変動、結核以外の患者} \\ \text{の混入その他当該都道府県の区域} \\ \text{の実情に照らして1を超え1.5以下} \\ \text{の範囲内で都道府県知事が特に定} \\ \text{めた数値} \end{array} \right] \\ + \left[ \begin{array}{l} \text{当該都道府県の区域内における慢性排菌患者(2年以上登録され} \\ \text{ており、かつ、1年以内に受けた検査の結果、菌陽性であった肺} \\ \text{結核患者に限る。)のうち入院している者の数} \end{array} \right]$$

※法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

### 4 感染症病床

#### 【根拠】医療法施行規則第30条の30第4項

都道府県の区域ごとに「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第38条第1項の規定に基づき厚生労働大臣の指定を受けている特定感染症指定医療機関の感染症病床並びに同条第2項の規定に基づき都道府県知事の指定を受けている第一種感染症指定医療機関及び第二種感染症指定医療機関の感染症病床の数を合算した数を基準として都道府県知事が定める数